



地域と大学を結ぶ広報誌

城西

Vol. 24
2018.3

 城西大学
 城西短期大学



特集

行田ヘルシーメニュー プロジェクト

新企画 **フォーカス**

和田公雄・鶴ヶ島市副市長 付属川越高校和太鼓「櫂」

赤羽有紀子さんが女子駅伝部コーチに就任
監督は夫の周平氏

目次

- 02 [特集]
「行田ヘルシーメニュー
プロジェクト 栄王」
- 03 「柚子ゼリー」が進化 新商品2種発売
- 04 女性リーダー育成奨励生など74人に授与
「2018城西大学就職セミナー」開催
40年勤続の7人を永年勤続表彰
- 05 3年ぶり4回目のシード権獲得(箱根駅伝)
赤羽有紀子さんが
女子駅伝部コーチに就任
- 06 大連理工大の学生研修代表团 来校
第7回 城西大学英語スピーチコンテスト
杉林教授監修の美容機器
@コスメのランキング1位に
- 07 [新シリーズ]フォーカス
鶴ヶ島市 和田公雄副市長
付属川越高校の和太鼓「櫻」
- 08 [シリーズ]先輩訪問
株式会社トヨタレンタリース埼玉
専務取締役 関根正也さん
- 09 [シリーズ]学生互版
水田コレクション展「江戸の装い」開催
展覧会「忠臣蔵の世界」
- 10 [シリーズ]図書館だより
- 11 [エリア紹介]
日高市 第10回巾着田菜の花まつり
毛呂山町 第12回歴史民俗資料館まつり
東武線沿線情報
休日はお得なきっぷでお出かけを

題字: 創立者 水田三喜男 先生

今号の
表紙

「行田ヘルシーメニュープロジェクト」のカフェメニューづくりには、医療栄養学科の1、2年生17人が参加しました。テレビドラマ「陸王」で話題となった行田市。同学科が自治体とコラボレーションしたのは、初の試みで、学生たちにとっては、得難い経験になったはず。



特集

「行田ヘルシーメニュープロジェクト」 参加14店舗は「健康レシピ」認定マークを掲出

テレビドラマ「陸王」の舞台となった行田市の依頼を受けて医療栄養学科が手掛けていた「行田ヘルシーメニュープロジェクト」のメニューが完成しました。行田市水城公園に移築・復元する旧忍町信用組合店舗で提供する子育て世代を対象にしたカフェメニューと、行田市内の飲食店で提供する料理の「健康レシピ認定」メニューの2種類。名付けて「栄王」。自治体と協力した初の取り組みで、真野博学科主任は「地域の人たちやプロの料理人と関わることで、成長していく学生の姿を見ることができた。アクティブラーニング(体験型学習)として



健康レシピ発表会の様子

良いプログラムとなったので、機会があれば、他の自治体などとも協力していきたい」と話しています。

プロジェクトは昨年8月からスタートしました。行田市の保健センターで管理栄養士として働く卒業生からメニュー作り事業への協力を求められたのが、きっかけでした。カフェメニューの開発に手を挙げたのは、1年生11人と2年生6人の計17人。条件は、行田の農産物を使って500円以内で提供できる軽食で、旧店舗は市の文化財で火が使えないため、加熱は電気調理器に限るなど。学生たちは、試作と2回の修正を経て今年1月に20のレシピを完成させました。特産の青大豆や小松菜、蓮の実などを使った「大豆を使ったオムライス」や「小松菜のジェノベーゼ」「蓮ごはんと甘口豆乳梨カレー」「豆乳茶碗蒸し」など、おいしそうな料理が並んでいます。カフェでは、移築・復元が完了する10月以降、このレシピから10品目程度を提供。市では公開されるレシピで家庭や集会でもカフェ料理を楽しんでもらうことにしています。



旧忍町信用組合店舗の復元完成予想図

「健康レシピ」認定事業

一方、店舗で提供する「健康レシピ」認定事業には、レストランや蕎麦店、割烹、ラーメン店など14店舗が参加しました。「健康に興味・関心がある世代」を対象にしたメニューで、①行田の農産物を使用していること②1食当たり120g以上の野菜(イモ類、果物は除き、キノコ、海藻類、豆類を含む)を使用③1食当たり総エネルギーが550~750kcal④1食当たり3g未満の食塩相当量——のうち二つ以上当てはまる料理について、医療栄養学科の学生が栄養価計算と助言をしました。今年1月に開かれた「健康レシピ発表会」で決まったメニューは16種。レストラン「ミヨシ」は、「行田在来青大豆のポ



「行田市 健康レシピ認定店」マーク

タージュ」や「行田足袋カレー」などが認定を受けました。また、「よろづ屋」のラーメンはレモン味にすることで塩分を減らしました。各店舗は「行田市 健康レシピ認定店」のマーク=写真=を掲出します。

メニュー作りに参加した荒川有津希さん(2年)は「行田市出身なので、プロジェクトに興味をわき参加した。私は「青大豆のプリン」を考えたが、青大豆が行田市で採れるということは知らなかったのが驚いた。ほかにも健康レシピ発表会など普段経験できないことが経験できて良かった」と振り返っています。指導に当たった中里見真紀助手(管理栄養士)は「2品以上、(メニューを)作った学生もいて絞り込みに、うれしい苦労があった。参加したかったという学生も多く、今後機会があれば積極的に関わっていきたい」と述べ、古屋牧子助教(薬剤師)も「行政との関わりで、学生は緊張する場面もあっただろうが、成長につながったと思う。皆の健康につながることで、楽しかった」と話しています。

「柚子ゼリー」が進化 新商品2種発売

「タネまで柚子RUNスティックゼリー」「BMペプチド5000(柚子味)」

「こま川めしプロジェクト」の一環として、医療栄養学科で取り組んでいる「柚子ゼリー」が進化しています。毛呂山町産の桂木柚子を皮や種ごとペーストにしたカップ型の「タネまで柚子らんゼリー」が誕生し、続いてハイキングやスポーツの場面で手軽に摂取できる「タネまで柚子RUNスティックゼリー」=写真左=がお目見え。さらにこのほど、コラーゲン由来の活性型ペプチドを凝縮・配合した「BMペプチド5000(柚子味)」=同右=が発売になりました。

「タネまで柚子らんゼリー」の商品化は、女子駅伝部の選手だった同科の茂木美優さん(2016年卒業)の卒論研究テーマ「『タネまで柚子らん』を利用したメニューの開発とパンフレットの作成」がきっかけとなりました。その後、野菜ペースト加工などを手掛ける「リパティハウス」(本社・埼玉県八潮市)と連携協定を結んで、カップ型ゼリーとスティックゼリーとして商品化にこぎつけました。現在、毛呂山町観光

協会と販売しています。コラーゲン加工食品「BMペプチド5000(柚子味)」は、「ニッパバイオラボ」(大阪市浪速区)が製造・販売しています。スティック



小林亮介さん



ク1本当たり5000kcalのコラーゲン由来活性型ペプチドを凝縮したゼリーに、「タネまで柚子らん」を配合、骨などの代謝をサポートするビタミン類やナイアシン、葉酸も加えています。1本28g。ダイエット中の小腹対策や運動後の栄養補給にも便利で、そのままヨーグルトにプラスしてもいいそうです。

「タネまで柚子らん」については、君羅好史助手の指導で院生の小林亮介さん、小久保啓さん、野村佳歩さんが研究を進めています。小林さんは「自分の研究成果を生かした商品開発ができてうれしい。地域の特産品を生かした機能性食品なので多くの人に食べてもらいたい」と話しています。

女性リーダー育成奨励生など 74人に授与

2017
12.15

「次世代のよきリーダーめざし日々精進」(原田)

2017年度の女性リーダー育成奨励生などの授与式が昨年12月15日、水田三喜男記念館講堂で開かれました。授与されたのは計74人=写真。小野元之理事長特別補佐は「奨励生に選ばれたことを誇りに頑張してほしい」と挨拶。白幡晶学長は「先が見えない世の中に皆さん出て行くわけですが、その時に奨励生になったことは大きな自信になります。世の中に役立つ人間になっていただきたい」と激励しました。

これに対し奨励生を代表して原田真季さん(薬学部薬学科2年)が「次世代のよきリーダーとなるべく一歩前進できるよう、



多くのことを学び、身につけたいと思います。研修で得たことを城西大学に還元するべく、今後も努力を怠らず、グローバル社会で個人として通用するリーダーをめざして日々精進してまいります」と感謝の言葉を述べました。

各制度の人数は次の通り(重複あり)。

【女性リーダー育成奨励生】=5人 【城西大学・城西短期大学第一種奨励生】=15人 【同第二種奨励生】=47人 【水田三喜男記念奨励生】=10人

「2018城西大学就職セミナー」開催

2018
1.19

企業・団体200社の幹部・採用担当者が参加

「2018城西大学就職セミナー」が1月19日、東京・池袋のホテルで開かれました。約200社の企業や団体の幹部や採用担当者が参加、本学の教員と懇談し意見を交換しました。第1部では、白幡晶学長の挨拶、大学側出席者の紹介、倉成正和就職部長の挨拶に続いて、経営学部マネジメント総合学科の辻智佐子教授が「地域に宿るモノづくり:地場産業はいかにしてグローバル競争に挑むのか?」と題して講演しました。

第2部の懇親会=写真=では、小野元之理事長特別補佐が「学生を第一に考え、先生方の教育と研究を応援し、学生たちが城西大学で学んで良かったと思える大学にしようと、新体制で改革に取り組んでいるところです」と強調。「素直で頑張る、真面目なのが城西大学の卒業生です。企業の中にしっかり根付いて頑張っていく学生ばかりです。どうかよろしく願い申し上げます」と述べました。父母後援会の久保浩二副会長の挨拶の後、草野素雄短大学長が乾杯の音頭を取って、懇親に移りました。



40年勤続の7人を永年勤続表彰

2017
12.15

2017年度の永年勤続表彰が昨年12月15日、清光会館で行われました。今年度は40年勤続が7人でした=写真。小野元之理事長特別補佐は「皆さまのご尽力が城西大学の発展につながりました。新体制で法人と大学が一体となって改革を進めているところです。引き続き城西大学のためにお力添えをたまわりたい」と挨拶。7人を代表して安田信之助・経済学部教授は、本学を卒業して教員となった経緯などを紹介した後、論語の一説を引用して「これから大学は真の生き残り競争で冬の時代に入りますが、我が母校・城西大学は厳しい冬の時代に松柏(常緑樹)となれと思っております」と述べました。



安田教授以外の方々には以下の通り。

場勝義雄・経済学部准教授▽高橋理恵子・理学部助手▽山足安子・薬学部助手▽関根静男・薬学部事務室長▽宮崎徹治・経済学部事務室▽小宮隆志・生涯教育センター事務室

3年ぶり4回目のシード権獲得

2018
1.2~3

山上市・5区で服部が4人抜きの快走

第94回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)は1月2、3日に行われました。2年ぶり14回目の出場となった男子駅伝部は、山上市・5区での服部潤哉選手(経営学部3年)の4人抜きの快走や金子元気(同3年)、山本竜也(同4年)、大石巧(同3年)の各選手の区間4位の力走もあって総合11時間12分12秒で7位入賞を果たし、3年ぶり4回目のシード権を獲得しました。「新たな伝説～最強への挑戦～」を掲げてチーム一丸となって再起を期してきた男子駅伝部が、新たな始まりとなる伝説の1ページを記しました。

レース後の報告会では、選手をはじめ、応援の教職員、同窓会、父母後援会関係者の笑顔が広がりました=写真。白幡晶学長は「城西大学が新しく変わろうという年に、こうした結果を出してくれて、非常に



ありがたい。来年もワンランク上げた形で頑張っていたきたい」と述べました。

榎部静二監督は「8人の経験者がいることは非常にプラスになる。選手らがより競争をしてレベルアップを図れば、3位の可能性があると思っている。可能性を信じて努力していきたい」と話しています。

赤羽有紀子さんが 女子駅伝部コーチに就任

監督は
夫の周平氏

北京五輪の陸上長距離代表で在学中は2度の大学女子駅伝日本一に貢献した赤羽有紀子さんが、女子駅伝部のアドバイザー兼コーチに就任することになりました。4月1日付で、夫の赤羽周平氏が監督を務めます。

有紀子さんは1998年入学。1年時と3年時に全日本大学女子駅伝で優勝。個人では4年連続で区間賞を獲得しました。大学卒業後は実業団のホクレンに入会。2005年に大学で同期だった周平氏と結婚、2006年には長女を出産しました。「ママさんランナー」として活躍し、2008年北京五輪に出場(1万は20位)した後は、マラソンに転向。2011年の世界陸上テグ大会ではマラソンで5位入賞、2014年の大阪国際女子マラソン優勝で現役を引退しました。



周平氏は陸上競技部の主務を務め、有紀子さんとの結婚を機にホクレンの専任コーチとなり、2014年からは豊田自動織機女子陸上競技部のヘッドコーチを務めてきました。コーチ就任について有紀子さんは「優勝の感動は今も鮮明に記憶に残っています。今度はスタッフとして、あの感動を学生たちと味わえるよう、監督である夫とともに目標達成へ向けて取り組んでまいります」と抱負。周平氏は「もう一度学生界の頂点に立つことを目指したい」と話しています。

白幡晶学長は「卒業生であるご夫妻による指導体制の実現は、インパクトのある非常にうれしいニュース。日本の大学女子駅伝をけん引するようなチームづくりをお願いし、本学に新しい歴史をつくっていただきたい」と歓迎しています。

なお、鈴木尚人現監督は4月1日から、実業団の三井住友海上女子陸上競技部のヘッドコーチに就任されます。

大連理工大の学生研修代表团 来校

英語、中国語、日本語が飛び交う楽しい意見交換も

2017
12.12



海外姉妹校の大連理工大学の学生研修代表团が昨年12月12日、国際交流の一環として坂戸キャンパスを訪れました＝写真。毎年、本学から大連理工大学への「インターンシップ研修」に応じたものです。学生24人、教員ら4人の一行28人は、宿泊していた東京紀尾井町

キャンパス2号棟からバスで到着。本学からは留学生サポートのボランティア学生グループ「JIST」のメンバーや研修で大連を訪れた学生、中国人留学生、国際教育センター職員らが出迎えました。経営学部棟1階のプレゼンテーションルームで両大学を紹介しあった後、JUカフェで昼食を兼ねて懇談をしました。午後は交流を深めるために、3グループに分かれて20分ほど自己紹介を兼ねた意見交換の場を設け、英語、中国語、日本語が飛び交いながら、楽しい会話がはずみました。その後、城西大学の学生が、日本文化体験のための川越散策を前に事前プレゼンテーションを中国語で実施して大きな拍手を受けました。最後に記念品を交換、一行は川越に向けて出発しました。

第7回 城西大学 英語スピーチコンテスト

2017
11.25

予選を勝ち抜いた22人が学習成果を披露

第7回城西大学英語スピーチコンテストが昨年11月25日、水田三喜男記念館講堂で開かれました。応募者99人の中から予選を勝ち抜いた高校生17人、大学生5人の計22人がスピーチを発表し、日ごろの英語学習の成果を披露しました。

本コンテストは、埼玉県をはじめ多くの団体から後援をいただき開催しています。当日は市民の方々をはじめ、登壇者の家族、関係者など多くの方が来場されました。懇親会では、出席者同士の活発な交流も生まれました。

審査の結果、高校生部の最優秀賞（城西大学理事長賞）には、木下恵梨華さん（千葉県立稲毛高）が、大学の部の最優秀賞（同）には、田口萌華さん（都留文科大学文学部）が輝きました。埼玉県知事



賞は、橋本賢人さん（早稲田大学）に決まりました。また、本学現代政策学部の張順哲さんには、城西大学同窓会賞が贈られました＝写真。



杉林教授監修の美容機器 @コスメのランキング1位に

パナソニック「イオンエフェクター」

薬学部薬科学科の杉林堅次教授（城西国際大学学長）が監修した美容機器が、商品情報をランキングでチェックできる美容の総合サイト（@コスメ）のクチコミランキングで1位を獲得しました。

スキンケア美容家電部門で、対象の商品となったのは、パナソニックの導入美容器「イオンエフェクター」。美容液や乳液、アイクリームなどの保湿成分を角質層まで届ける機能があります。ランキングは、一昨年8月から昨

年1月までの半年間の集計でした。杉林教授は、皮膚に適用する医薬品や化粧品研究、開発の第一人者で、電気力を利用して有効成分の皮膚浸透性を高める研究成果を数多く報告。市販品の美容機器だけでなく、皮膚専門医が利用する美容医療機器も多く監修しています。杉林教授は「私たちは皮膚を介した物質の送達を促進するイオン導入法（イオンフォレシス）について研究してきました。この一部は医療施設で使用されている美容機器などにも応用されました。今回は、一般消費者をターゲットとした導入美容器を監修しました。安全性にもたいへん配慮した製品が出来上がりました。皆様もお試ください」と話しています。

導入美容器「イオンエフェクター EH-ST63」（現在は生産終了。現行商品はEH-ST75）＝パナソニック提供

フォーカス

連携協定を結んでいる近隣自治体のキーパーソンに登場いただくとともに、付属高校のトピックスを紹介する新シリーズ「フォーカス」。初回は、2020年東京五輪・パラリンピックでマンマーのホストタウンとなった鶴ヶ島市の和田公雄副市長と付属川越高校の和太鼓「櫻」に焦点を当てました。

「この経験は大変貴重なものとなる」

鶴ヶ島市 和田公雄副市長

——市民の皆さんの関心はいかがでしょうか。

和田副市長「小中学校の給食でのマンマー料理の提供やマンマー訪問団・留学生との交流イベントなどで市民の関心も高まってきていると感じています。また市内の複数の飲食事業者がマンマー産食材を用いた新メニューを開発し、定番化する取り組みを行うなどの盛り上がりも見せ始めています。2019年に予定しているオリンピック選手団の事前キャンプや2020年の東京五輪本番では市全体でマンマー選手団を応援できるように盛り上げていきたいと思っています」

——新年度の計画・予定を教えてください。

「新年度は、2019年に実施する事前キャンプに向けた調整をマンマー側と進めていきます。交流事業としては、日本で活躍するマンマー人の方と鶴ヶ島市民が、一緒になって交流できるイベントを検討しています。具体的な調整はこれからですが、鶴ヶ島市の伝統行事「脚折雨乞」とマンマーの「水かけまつり」を融合したイベントも開催したいと考えています」

——ホストタウンが若者や子どもたちに与える好影響については。

「グローバルとローカルを組み合わせたグローバルという言葉が



和田副市長（左）と本学の留学生昨年11月のイベントで

ありますが、市ではホストタウンの取り組みを通して、市民、子どもたちが世界に目を向け、その中で自分たちが地域でできることを実践していく機会にしていきたいと考えています。こうした経験は、次代を担う子どもたちをはじめ、市にとっても大変貴重なものとなると考えています」

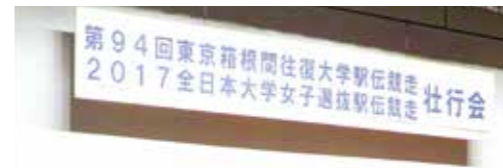
——城西大学に期待することは何ですか。

「これまでもマンマーからの留学生の方たちに交流事業などのお手伝いをさせていただいてきました。これからは教職員をはじめ日本の学生の皆さまにもさまざまな場面でご協力をいただきたいと考えています。特に、学生の皆さんには、市のイベントにボランティアとして参加いただくなど、大きな可能性を持った国であるマンマーの勢いを感じてもらい、世界に目を向けていただく機会にしてほしいと思います」

「城西の和太鼓はすごいと言われる演奏を」

付属川越高校の和太鼓「櫻」

昨年12月15日に開かれた箱根駅伝・富士山女子駅伝の壮行会で勇壮な演奏を披露した付属川越高校の和太鼓「櫻」。昨年11月、埼玉県郷土芸能祭で最優秀賞を受賞。今年8月、長野県で開かれる全国高等学校総合文化祭に6回目となる出場を



決めました。

発足は2005年。顧問の土谷聖教諭によると、生徒会のボランティア活動からスタートして、

切り離す形で和太鼓のチームが誕生したそうです。部活やサークル活動ではなく、土谷教諭は「太鼓は使ってはいますが、基本的にはボランティア活動。演奏では男子校の力強さを全面に出し、演奏

会場では清掃活動を欠かさないなど、人々にどう気持ちを伝えるかが活動の主体」と話しています。

現在のメンバーは高校2年生12人、高校1年生17人の29人。中学生は3学年合わせて15人が活動しています。練習は月～土曜の放課後2時間ずつ。太鼓の

数も初めは宮太鼓など5台だけでしたが、種類も増えて30台以上になりました。大会や学校の文化祭、川越の祭りのほか、福祉施設など演奏は年間30～40回に上ります。

リーダーは「長」と呼ばれています。新チームの長の麻生翔路さん（2年）は「他の楽器と違い、体に響いてくるところ」と和太鼓の魅力を語り、「城西の和太鼓は、すごいと言われるような演奏をしたい」と抱負を語っています。

壮行会と練習風景

先輩訪問

各界で活躍する卒業生を紹介する「先輩訪問」。今回は株式会社トヨタレンタリース埼玉専務取締役、関根正也さん(60)を埼玉県さいたま市大宮区の本社に訪ねました。

「賢者は聞く、 ——人の話をよく聞く ことが大切」



株式会社トヨタレンタリース埼玉 専務取締役 **関根正也**さん (1980年 経済学部卒)

——城西の卒業生を多く採用いただいています。

「従業員274人のうち26人が卒業生。うち3人は女性です。この会社では私が最初。途中から採用担当も任せてもらい、城西の学生も採用するようになりました。優秀かどうかはともかく、主要な部署のマネジャーになってもらったり、真面目でしっかり仕事してもらっています。社員の約1割なので、“最大派閥”(笑)。私が発起人になって年に1、2回、「城西会」という飲み会をしています。お店選びは若手に任せます。若い人から、最近の学内の話を聞けますし、楽しい会です。関連会社の埼玉トヨタ自動車、トヨタエルアンドエフ埼玉合わせて、65人のOB、OGがいます」

——どんな学生生活でしたか。

「文科系クラブの『フォーク・スウィング・クラブ』の活動が思い出です。当時は、フォークやニュー・ミュージックが盛んで、部員は70、80人もいました。楽器初心者の私たちは、『グレープ』や『アリス』から始まり、エレキに移って『世良公則&ツイスト』『Char』『四人囃子』などの曲をコピーしていました。夏は榛名湖や軽井沢で合宿。思えば、機材を運ぶためにレンタカーを借りたことが、今の仕事につながったのかもしれない。昔の8号館の前にあった部室の前で青空麻雀をやっていて怒られたこともあり。高麗祭では、実行委員会が手掛けた同世代のサザンオールスターズのコンサートを手伝いました。デビューしたてで体育会は超満員。私たちが人垣をつくって退場してもらいました。学外コンサートのパンフレットを作るため、広告集めで近くの商店を回ったことも懐かしく思い出します」

——今の仕事を選ばれたのは。

「公務員になるつもりが最後の面接で落ちて。トヨタの看板にひかれた部分もありましたが、当時はまだ従業員40人と小さな会社でした。でも色々やらせてもらえるかなと、入社しました。色々なことをやらされたり、やらざるをえなかったり。それはそれで良かったのかなと思います。なにより、さまざまな業種の方々と

話ができた。それが財産になっています。後々考えると、民間に入って良かったと思っています」

——転職になったことはありますか。

「管理部門が長かったんですが、2002年のサッカーの日韓ワールドカップの年に、当時の専務から営業に引っ張られました。しかし、その秋に専務が急死。指導を乞う間もなく亡くなられたので、自分で考えながらやるしかなかった。今でも命日には、必ず墓前で会社の状況をご報告させていただいています。営業に移り、ヒントになったのが、聞くことの大切さでした。私の好きな言葉に、古代ユダヤのソロモンの『賢者は聞き、愚者は語る』があります。お客様のお話をよく聞いて、お客様のためになることをお伝えするのが大切なんだろうと思います。このことは、社員にもよく話しています。日韓ワールドカップでは、警備のために大量のレンタカーが必要になり、埼玉県内や関東近県のレンタカー会社と協力して四苦八苦しながら対応しました。その経験が、その後の埼玉国体でも生きましたし、来年のラグビーワールドカップや2020年の東京五輪でも生きると思います」

——後輩へのメッセージをお願いします。

「職業選択って難しいですね。大それたことは言えませんが、会社の大小は関係ないと思います。こういう仕事をやりたいという気持ちを持って、入ることが大切ではないでしょうか。会社に入るのが目的ではなく、そこで何がしたいかを考える。そして、入ったら『賢者は聞く』で、そこでもやはり人の話をよく聞くことが大切だと思います」

■株式会社トヨタレンタリース埼玉

埼玉トヨタ自動車株式会社グループ。1967年10月設立。資本金3000万円。事業内容は、自動車のレンタル・リース、中古自動車の販売、損害保険代理店業務、自動車の車検・整備、通信機器(au)の販売など多岐にわたる。レンタカーは県内40店舗。リース拠点は7カ所。従業員274人。これまで福祉施設に車椅子約200台を寄贈。社会貢献にも力を入れている。
〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-15-1。TEL:048-645-2349。



大宮駅東口店

学生瓦版

広報委員会のメンバーが学内外で活躍する団体、個人を紹介する学生瓦版。今回は、お笑い倶楽部「Signs」と文化部連合会を紹介します。

「個性豊かな人たちがたくさんいます」 お笑い倶楽部「Signs」代表 鈴木則幸さん(経済学部4年)

最近学内でよく目にするクラブが、お笑い倶楽部「Signs」だ。学内でのライブをはじめ、他大学との対決ライブなども行い、部は文字通り笑い活気に満ち溢れている。

普段の活動は毎週月曜日、4号館201号室で午後5時から6時まで。メンバーは20人ほどで、ライブなどでネタを披露する部員以外に純粋にお笑いが好きという理由で所属している部員も少なくないという。

今後の目標は、学内のライブで観客を増やすことだ。50人ほどの観客を動員するという青山学院大学のライブに対抗心を燃やしている。代表の鈴木則幸さん(経済学部4年)は、「倶楽部には個性豊かな人たちがたくさんいます。誰でも歓迎します」と同志を募っている。お笑いに少しでも興味を持っている人は、Signsに参加してみてもいいだろう。新しい世界が開くかもしれない。(取材:放送局一同)



前列右から4番目が代表の鈴木則幸さん

※広報委員会ではニュース・話題を募集しています jukoho1@gmail.com

「挑戦して培ったものは社会でもきっと役立つ」 文化部連合会 第51期会長 砂坂大輝さん(理学部化学科3年)

文化部連合会は現在、40人の学生が7局に分かれて活動している。定例会数は週に2回で、火曜日に幹部定例、金曜日に全体定例を行っている。

1年間の活動に必要な予算を決めるほか、文化部親睦会などで文化部の交流の場を作ったり、高麗祭に来てもらう芸人らを決めたりしている。今後は文化部全体の盛り上げを図るため、親睦会などのイベントを多くして交流を深めていきたいという。

第51期会長の砂坂大輝さん(理学部化学科3年)は「文化部13団体どの団体も個性豊かで、とても楽しい団体ばかり。学生生活4年間で挑戦して培ったものは、社会でもきっと役に立つと思います。ぜひ文化部に入って挑戦してほしい」と呼びかけている。

(取材:渉外局一同)



前列左から4番目が会長の砂坂大輝さん

2018.3.17/4.4~21

水田コレクション展「江戸の装い」開催 浮世絵など18点と着物3点の計21点を展示

水田美術館では、水田コレクション展「江戸の装い」を開催します。卒業式当日の3月17日(学内関係者のみ)と入学式の4月4日から21日まで。

いつの世においても流行は存在し、江戸時代の人々もその時の流行色や模様を用いた着物をまとい、ファッションを楽しんでいました。加えて、歌舞伎役者や吉原の遊女、市井の美人や粋な男性など、注目の人物たちが身に着ける衣装や着物などは、人々のファッションへの意識をさらに高めてきました。江戸時代の風俗を伝える浮世絵は、そうした服飾文化を伝える格好の絵画資料といえます。

本展では、所蔵の水田コレクションの中から、肉筆画や錦絵を通して江戸の装いを紹介、実際に着用されていた着物も展示します。展示されるのは、吉原真龍「夏姿美人図」や鈴木春信「六玉川 搦衣の玉川」=写真、上村松園「美人納涼図」などの浮世絵など18点と着物3点の計21点。



2017.11.14~2018.1.20

展覧会「忠臣蔵の世界」 有名場面など54点をえりすぐって紹介

水田美術館で昨年11月14日から今年1月20日まで、「近代画家たちの競演」と題して、大正時代に描かれた忠臣蔵をテーマにした作品を紹介する展覧会「忠臣蔵の世界」が開かれました。

元禄赤穂事件を題材とした忠臣蔵は今なお、ドラマや映画、舞台、小説などで取り上げられる人気の高い物語です。明治から大正にかけては、忠君愛国の精神につながるものとして義士たちの忠誠が賛美されていました。この流れを受け、大正10(1921)年、当時さまざまな画派や団体で活躍していた画家ら82人の作品による豪華大型木版画集「義士大観」が出版されました。富岡鉄斎や下村観山、上村松園、伊東深水などが、1人1場面ずつ描きました。作品の所蔵はいずれも城西国際大学水田美術館です。

今回の展覧会では、描かれた82の場面から、有名な場面や印象に残る場面など54点を選び、前期(11月14日~12月9日)、後期(12月12日~1月20日)=写真=に分け27点ずつ紹介。年末年始を挟んで多くの来場者がありました。



「城西大学読書感想文コンテスト2017」の表彰式を開催

昨年12月9日、水田三喜男記念館で「城西大学読書感想文コンテスト2017」の表彰式を開催し、グランプリ、準グランプリ、優秀賞の各受賞者に関俊暢図書館長より賞状と副賞が贈られました。今年度は中学生・高校生のみを対象とし、4つのテーマで募集したところ、昨年の中学生・高校生部の応募者142人を大きく上回る313人(中学生



226人、高校生87人)の応募がありました。受賞者(敬称略)
【グランプリ】「人の痛みのわかる人に」中村佳穂里(埼玉平成中学校1年=写真右から2人目)書名『想像ラジオ』**【準グランプリ】**「夢を叶えた女性達に学んだこと」柏木美紅(秀明中学校2年=同3人目)書名『医者になりたい:夢をかなえた四人の女性』**【優秀賞】**「犬が来る病院を読んで」河崎友佳(草加市立花栗中学校3年=同左端)書名『犬が来る病院』、「普通の人間」山崎万梨子(西武台新座中学校2年=同右端)書名『自閉症の僕が跳びはねる理由』

「第9回地域相互協力図書館合同主催公開講座」を開催

12月15日、鶴ヶ島市立中央図書館で近隣の相互協力図書館(坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、毛呂山町、越生町)との合同主催公開講座「地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割」を開催し、近隣地域の方々52人が聴講しました。本学薬学部准教授で薬剤師でもある大嶋

繁先生が、地域包括ケアシステムをテーマに詳細なデータやご自身の体験談を交えながら今後の薬局・かかりつけ薬剤師の役割等について講演しました。(大嶋准教授は11月に城西大学薬局における薬剤師活動で「埼玉県知事表彰(薬事功劳)」を受賞しています)



「図書館と県民のつどい埼玉2017」に貴重図書を出展

12月17日、桶川市民ホールさいたま文学館で開催された「図書館と県民のつどい埼玉2017」に「芭蕉と江戸俳諧の世界」をテーマに出展しました。「奥の細道」をはじめとする松尾芭蕉関連の貴重書

のほか、芭蕉の年譜、奥の細道でたどった旅程を記した地図等を展示し、それぞれの俳句の詠まれた背景等にも関心を持ってご覧いただきました。



日高市立図書館「ビブリオバトル2017 冬の陣」にてチャンプ本を獲得

12月23日、日高市立図書館で開催された「ビブリオバトル2017 冬の陣」に城西大学の図書館学生アドバイザー栗原稜太さん(経済学部3年)が出場し、参加者7名の中から見事チャン

プ本(=書名『表参道のセブ犬とカバーニヤ要塞の野良犬』)を獲得しました。



城山中学校1年生が図書館業務を体験

1月25日、坂戸市立城山中学校1年生(1人)が図書館で職場体験学習を行いました。大学図書館についての説明を受けた後、館内見学、カウンターでの貸出・

返却、返却図書の配架、図書の装備などを体験しました。一日の最後には自分のお薦め図書のポップを作成し、図書館カウンター前に展示しました。

エリア紹介

日高市

第10回巾着田菜の花まつり

昨年9月20日、天皇、皇后両陛下が訪問された巾着田は、四季折々の草花が咲く、自然豊かな場所です=写真。3月下旬から4月上旬は、堤沿いに咲く約100本の桜と一面を黄色で染める菜の花を楽しむことができます。

この春の時期に今年も「巾着田菜の花まつり」を開催します。4月7日(土)、8日(日)の2日間、日高市のグルメの出店やステージイベント、菜の花を見ながら楽しめるミニSLの運行、自然



毛呂山町

第12回歴史民俗資料館まつり

4月8日(日)に「第12回歴史民俗資料館まつり」を開催します。桜が咲く春の日に開催する民俗芸能公演をはじめ、ちょっと昔の暮らし・遊び体験、また鎧武者と歩く鎌倉街道散策などの毛呂山町の歴史と文化に触れること



を体験できるイベントなど、さまざまなアトラクションを用意して皆さんのお越しをお待ちしています。

また、巾着田の向かいにある国登録有形文化財「高麗郷古民家」には、鯉のぼりや五月人形が飾り付けられます。

少し足を延ばせば、標高305mの日和田山もあります。日和田山内の二の鳥居付近からは、巾着田がなぜそう呼ばれているのか、目で確認できると思います。春のひととき、「遠足の聖地ひだか」を、ぜひお楽しみください。

東武線沿線情報

休日はお得なきっぷでお出かけを

東武東上線は、東急東横線、横浜高速みなとみらい線との相互直通運転を開始してから5年が経過いたしました。東上線から自由が丘、渋谷エリア、横浜エリアに乗り換えなしでお出かけできる大変便利な路線です。ご家族、ご友人、大切な人とのすてきな思い出作りにも、お得なきっぷを使って便利に快適にぜひお出かけください。

「東上東急線トライアングルチケット」は、東急線の渋谷～自由が丘～二子玉川間のエリア(トライアングルエリア)へ、お友達同士でお買い物や大切な人とおしゃれなカフェで楽しいひとときを過ごしたい方にぜひオススメのきっぷです。

「東上横浜ベイサイドきっぷ」は、東上線から横浜や元町・中華街等へのお出かけに大変便利なきっぷです。

詳しくは、東上線各駅に置いてあるパンフレットをご覧ください。



ができるイベントです=写真。

また、3月31日(土)から5月13日(日)まで、同館展示室で指定文化財春季特別公開「桂木寺木造伝釈迦如来坐像」を開催します。滝ノ入地区の桂木寺に伝わる「桂木寺木造伝釈迦如来坐像」(埼玉県指定文化財)は、平安時代の作で関東地方屈指の木彫仏です。鎌倉街道が残る毛呂山町の歴史と文化を体験できるイベントをお楽しみください。

会場は毛呂山町歴史民俗資料館(埼玉県入間郡毛呂山町大類535)、開催時間は午前9時30分から午後3時まで。

※無料駐車場あり。お問い合わせは、同館(☎049-295-8282)へ。

編集/学校法人城西大学 広報センター
 発行/城西大学 総務部総務課
 〒350-0295
 埼玉県坂戸市けやき台1-1
 TEL049-271-7712
<http://www.josai.ac.jp>